

2015年5月1日

会員各位

科学基礎論学会
奨励賞選考委員会
委員長 松本 俊吉

本学会では、若手研究者育成のため、優れた論文を対象にした奨励賞を設けています。つきましては、2014年度奨励賞の会員による推薦を下記の要領で行うことと致します。推薦は自薦・他薦を問いませんが、2015年8月31日（月）必着で、事務局に郵送もしくはメールで御提出ください。

【選考要綱】

- (1) 『科学基礎論研究』、*Annals* いずれかの機関誌に2014年度に発表された論文の著者で、投稿受付時点で45歳未満の会員を対象とする。ただし、理事を除く。
(次頁「奨励賞選考対象者一覧」参照)
- (2) 単年度を範囲に1ないし2名を選出する。
- (3) 奨励賞選考委員は理事会で選ぶ。
- (4) 学会の秋の研究例会で授賞式を行い、副賞として10万円を授与する。(2名の場合は折半とする)

【推薦要領】

- (1) 所定の書式（ウェブサイトからダウンロードできます）を用い、郵送もしくはメールで事務局へ2015年8月31日（月）までに送付する。
- (2) 自薦、他薦のいずれでもよい。
- (3) 記名で、会員一人あたり2名まで推薦できる。
- (4) 推薦にあたり400字以内でその理由をつける。

【選考結果】

選考委員会で選考し、理事会で承認する。結果は本人に通知し、学会ウェブサイトで公表する。表彰式は秋の研究例会で行う。

【送付先】

〒108-0023
東京都港区芝浦2-14-13 MCKビル2F
笹氣出版印刷株式会社内
科学基礎論学会事務局
TEL 03-3455-4439 / FAX 03-3798-1372
E-mail kisoron@sasappa.co.jp

以上

2014 年度 奨励賞選考対象者一覧

| 掲載雑誌 | 氏名 | 所属 | 論文名 |
|-----------------------|----------------------|--|--|
| 『科学基礎論研究』 42 巻 1 号 | 佐藤 暁 | 駒澤大学 総合教育研究部 | タイプとしての意味とハンプティ・ダンプティ理論 —ダメットの議論の再構成— |
| 『科学基礎論研究』 42 巻 1 号 | 高取 正大 | 慶應義塾大学大学院 文学研究科 日本学術振興会 特別研究員 | クワイン型存在論的コミットメントの十分な定式化 に向けて |
| 『科学基礎論研究』 42 巻 2 号 | 大西 琢朗 | 首都大学東京 日本学術振興会 特別研究員 | 間接検証としての演繹的推論 |
| ANNALS Vol.23 | 青山 拓央 ^(※) | 山口大学 時間学研究所 | Free Will and the Divergence Problem |

(※) は共著論文

----- ✂ -----
科学基礎論学会

2014 年度奨励賞の推薦について (提出は 2015 年 8 月 31 日必着。)

推薦者氏名 _____

被推薦者氏名と論文名 : _____

推薦理由 (400 字以内) : _____